

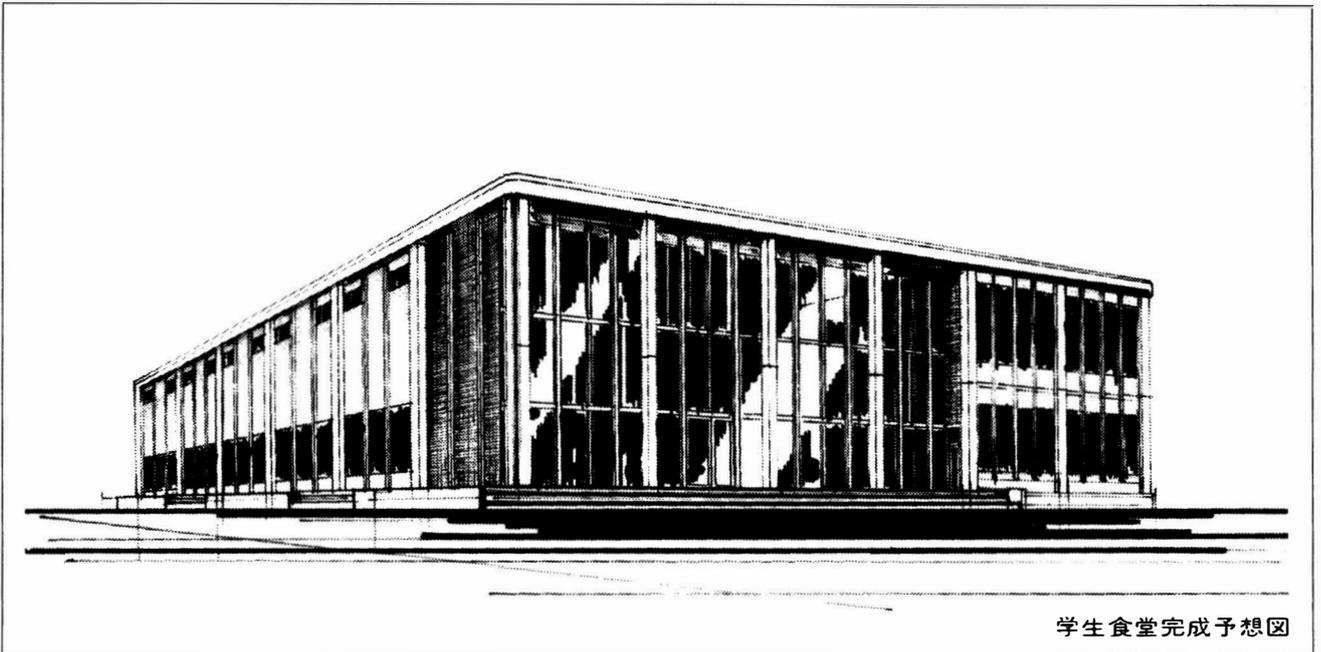
学園ニュース

富山大学

No.12

編集 学園ニュース編集委員会 発行 富山大学

昭和48年2月5日



学生食堂完成予想図

待たれる新学生食堂

長らく懸案のまま進展をみなかった本学学生食堂の新築も、いよいよその実現が確定された。準備万端、昨年末の予想より約1カ月遅れ、着工の期日は、当地方特有の天候にも左右されようが、今は3月中旬と予定されている。上掲の立体予想図は、よく描かれる木立の背景や、人物の点在など一切省いた極めて簡略なものだが、道路をはさんで学生会館に面することとなる正面数本の長い柱の背後には、広い2カ所の入口が設けられ、それらを含む前面の大部分はガラス張りに仕上げられる。そこを通れば吹き抜けのホール、その中央に設けられる階段の両側から中へ入れば、近代食堂にふさわしい明るさと清潔さを感じさせる広い内部が眼に入るといことになるだろう。正面、向って右側は理髪部、その前には植え込みなども考えられ、ホ

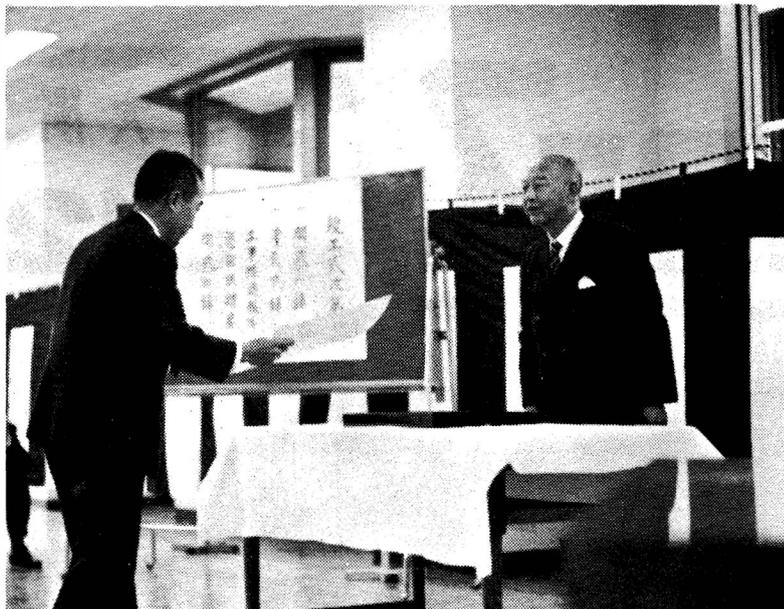
ールの階段を上げれば喫茶部、購買部、書籍部など、それぞれに利用し易いよう工夫されている。

これまで、万事に手狭な施設の中で、昼食時ともなれば、長い行列がつくり出す、あの混雑もいづれ緩和され、長い間そこで苦労を重ねてきた本学生協に働く人たちも、やがて近代的に整備された場所で、新しく生気を取り戻されることだろう。

何かにつけ不完全な現食堂が姿を消し、いくぶんは学園内の美観にさえ役立つ程の新食堂が生れる日も、もう、それ程遠くはない。

- 場所 学生会館向って左側、体育館前方の空地。
- 規模 鉄筋コンクリート、二階建1630㎡。

(学生部)



附属図書館竣工式 行なわれる

既報のとおり昨春以来着工されていた図書館新築工事も、この程予定より約1カ月遅れて完成し、さる1月20日午前11時から新装なった附属図書館において、学長はじめ、各部局長、工事関係者その他多数参列のもとに竣工式が行なわれた。学長より式辞が述べられ、ついで建設関係各社への感謝状がおくられた。

なお、開館は4月初旬の予定。

式 辞

学 長 後 藤 秀 弘

本日ここに多数の来賓ご出席のもとに、本学中央図書館の竣工式を挙行できますことは、私のよろこびとするところであります。

本学の附属図書館は、昭和24年5月国立学校設置法の公布によって富山大学が設置されると同時に、その母体となったそれぞれの学校の蔵書と職員とを包括して発足しました。

当時、図書館は本部のあった薬学部内の一室におかれ、図書館本部と呼称し、各学部に分館を設けていましたが、同年8月には文理学部に移転し、文理学部分館を統合して図書館本館と改称し、独立部局としての体裁を整えるに至ったのであります。その後各学部の五福集中にともない、昭和32年4月図書館本館も五福に移転いたしました。

いらい今日まで大学における研究ならびに教育活動の重要な機関として、その役割を果たしてきたのであります。逐年学術文献資料の激増と教官・学生等利用者の増加によって図書館施設が狭隘となり、抜本的な改善措置を講じなければならない段階に立っております。そのため昭和41年6月中央図書館の建設を42年度歳出概算要求として文部省に提出し、査定の大詰

めで認められることになっていたのでありますが、昭和43年度から図書館の基準坪数および基準単価が増大することが確実となったため、積極的に中央図書館の建設を見送ることになりました。その後も附属図書館から中央図書館建設の要求があったのでありますが、敷地の問題などで解決せず、今日まで延び延びになっていたのであります。

このたび多年の念願であった中央図書館が五福キャンパスの最適の場所に最新の設備を整えて新築落成しましたことは私の非常によろこびとするところであり、これはひとえに文部省ならびに関係された方々のご協力の賜と厚く感謝いたしております。

本学の附属図書館は昭和48年1月1日現在、和書251,618冊、洋書87,127冊、合計338,745冊の蔵書を有し、小泉八雲のヘルン文庫や郷土史の貴重な資料である川合文書などを所蔵いたしておりますが、今後附属図書館がこの立派な施設を活用して図書館サービスの近代的機能を十分に果すよう要望して式辞といたします。

昭和48年1月20日



吹雪を克服して スキー講習会 終る

スキー初心者(10班)のノートより

初めて滑った。転んでばかり。地響きが、富山まで届かないかと心配する。穴も随分あいたようである。午前中は、転んだ後、起きあがるのにこずいたが、午後からはストックで、ヒョイと起きれるようになった。大変な進歩である。

富山と同じ雪国とはいえ、雪質が全然違うのに驚いた。パサパサの雪がしんしんと降り、いったん積もると、冷えるせいかコチコチに固まる。転ぶと非常に痛い。62キロの僕が歩いても沈まない。富山の雪は、歩くたびにポコポコ、ボソーである。映画で、雪の上を平気で歩いているシーンを見て不思議に思っていたのだが、今、ようやく理解できた。大変な知識の向上である。

初めてのスキーで、勝手がわからない。スキー靴

のはきにくいこと。それから、なかなか曲がれない。重心を移せばよいと、理論は判っているのに体が思うように動かない。先生がスイスイと滑っていくのが不思議でならない。我々の練習している場所は、リフトから一番離れている。皆リフトに乗って、上の方から滑り降りてくる。我々はいつ乗れるようになるのだろう。

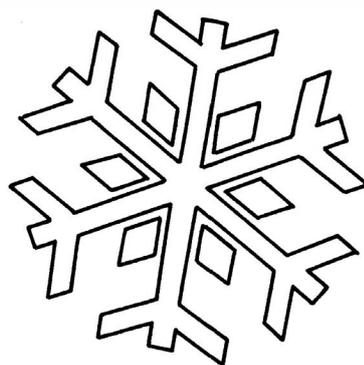
初日の晩、ミーティングの時、先生から「転ばずに止まれるようになりなさい」と言われた。なるほど、転んでばかりいると、いつまでも初心者に見られる。皆の前でサッソウと滑り、ピタッと止まれるように早くなりたい。きょう練習したのは、ブルーク・ボーゲンというのだそうである。



さる1月7日から13日までの1週間にわたり、長野県ツナ平スキー場を中心として、学生100名、教職員20名計120名が参加して「昭和48年1月学生集団スキー講習会」が例年のように開催された。

今回の講習会は、初日から猛吹雪に見舞われ、晴れた日はわずかに2日間という最悪のコンディションの中で行なわれたが、10班編成の各班とも、スキー技術の向上をめざし、1人の脱落者もなく、大雪を克服して練習を続けたことは喜ばしいことだった。ただ残念なことは、教養部、及び経済学部 of 学生が時期的に遅れた期末試験と重なり、1名の参加者もなかったということ。

しかし、ともかく1週間にわたる講習会は悪天候のさ中とはいえ、心配された怪我人もなく、無事有意義に終了し得たことを、指導教官並びに関係各位に深く感謝したい。
(学生課)



富山大学体育会柔道部`3位に入賞

昨年10月下旬、本学柔道部は東京講道館における東日本五学連学生柔道優勝大会に出場し、敢闘の結果見事第3位に入賞した。当日、本学のため大いに活躍し気炎をあげた選手諸君の氏名はつぎのとおり、

監督 石黒 光祐
選手 吉田 耕助(経-4) 村上 良平(経-4)
井本 進(経-3) 大崎 進(理-3)
山口 貞夫(工-2)

第3回北信越大学バレーボール 秋季選手権大会終る

昭和47年11月23日から26日までの4日間にわたり、本学体育館と不二越体育館で男子7大学9チーム、女子11大学11チーム、204名の若人によって、バレーボール大会がはなばなしく開催され、熱戦の結果本学チームは惜しくも優勝を逸したが、それでも男子3位、女

子4位とそれぞれ上位に入賞した。男子は金沢大学が通算2回の優勝、女子は金沢女子短期大学が初優勝し、それぞれ賞状と優勝杯が贈られ、とくに初優勝した金沢女子短大チームのよろこびはひとしお、観戦するものに印象的であった。

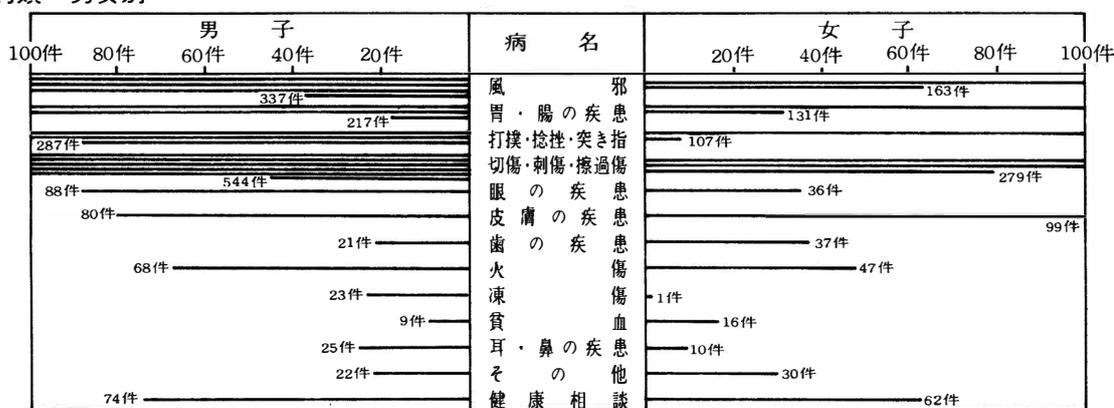
保健室利用状況調 (昭和47.4~47.9)

(1) 病類・学部・男女別

処置名	学部		文 理		教 育		経 済		薬 学		工 学		教 養		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
風 邪	67	14	15	17	30	—	118	96	23	—	84	36	337	163		
胃・腸の疾患	28	13	16	15	19	—	73	58	17	—	64	45	217	131		
打撲・捻挫・突き指	30	10	25	15	30	2	36	19	34	—	132	61	287	107		
切傷・刺傷・擦過傷	65	40	40	51	54	5	114	82	13	—	198	101	544	279		
眼の疾患	11	2	4	3	3	—	31	25	8	—	31	6	88	36		
皮膚の疾患	1	1	1	9	1	—	64	81	5	—	8	8	80	99		
歯の疾患	1	1	5	1	—	—	8	30	1	—	6	5	21	37		
火 傷	16	8	—	3	10	—	24	26	12	—	6	10	68	47		
凍 傷	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	21	—	23	1		
貧 血	—	—	—	—	1	—	4	13	1	—	3	3	9	16		
耳・鼻の疾患	2	—	10	3	—	—	7	7	6	—	—	—	25	10		
そ の 他	—	1	—	1	—	—	20	26	1	—	1	2	22	30		
健 康 相 談	2	—	3	2	—	—	55	54	7	—	6	6	74	62		
計	223	90	119	121	151	7	554	517	188	—	560	283	1,795	1,018		
治 療 率	77.09%		73.61%		49.22%		401.12%		27.36%		43.92%		71.65%			

(2) 病類・男女別

(延件数)



(3) 月・学部・男女別

月別	学部		文 理		教 育		経 済		薬 学		工 学		教 養		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4 月	17	6	16	15	37	—	56	45	27	—	66	21	219	87		
5 月	53	25	47	25	22	5	83	86	27	—	83	52	315	193		
6 月	57	25	25	39	40	2	127	143	56	—	198	82	503	291		
7 月	56	18	20	35	18	—	87	94	36	—	103	54	320	201		
8 月	7	1	4	2	4	—	45	14	5	—	17	4	82	21		
9 月	33	15	7	5	30	—	156	135	37	—	93	70	356	225		
計	223	90	119	121	151	7	554	517	188	—	560	283	1,795	1,018		

(延件数)

[あ と が き]

「学園ニュース」は創刊後間もなく一時難行し、それを機に、振り出しへ戻って編集委員会規則をつくっては、といった声も出ていた。しかし、結論は、せっかく乗り出した船を各学部協力のもと、曲りなりにも、やはり続行してみても、ということで、改めて今の編集委員会が設けられ、以来、どうやら各委員との談笑の中から、こんな形で本年度最終号までこぎつけてきた。

もともと、学園ニュースは全学的に知ってほしい学内の動きを中心に、共通の関心を高め、時には全学的協力、理解のたしにもなれば、ということで生れたものだろう。しかし、今振り返ってみれば、もう少し明るい楽しい記事がほしかった、というのが、今度最終

委員会での反省の声。創刊以来変わらず協力し続けて頂いた工学部の沢島委員は全くご苦勞様。また、文理学部からは、ついに編集委員の参加をみななかったことはさびしい限り。こんな声も、最終委員会のみなさんに通ずる気持のようだった。(酒井)

富山大学学園ニュース編集委員会委員

教育学部	助教授	藤 井 敏 孝
経済学部	教 授	岩 淵 富 治
薬 学 部	"	西 荒 介
工 学 部	"	沢 島 恭
教 養 部	助教授	奥 貫 晴 弘
学生部長	教 授	酒 井 康 彦